

令和2年第5回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

- 9月14日(月)午前10時～
- | | | | |
|---|------|----|-------|
| 1 | 金澤大輔 | 議員 | (30分) |
| 2 | 成田哲男 | 議員 | (30分) |
| 3 | 館花一仁 | 議員 | (60分) |
| 4 | 兔澤祐一 | 議員 | (30分) |
| 5 | 田中孝一 | 議員 | (30分) |

□質問時間割当表

	10:00	10:30	11:00	11:10	12:10	13:00	13:30	14:00
9月14日 (月)	金澤大輔 (30分)	成田哲男 (30分)	休憩 10分 間	館花一仁 (60分)	休 憩	兔澤祐一 (30分)	田中孝一 (30分)	

令和2年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
1		子育て支援について		<p>① ファーストベビー祝い金が、出生数低下に歯止めをかけることができず、結果的に効果に結びつかなかったということで廃止になったが、「お祝い金」は効果ではなく「お祝い」の意味合いを重視すべきではないかと思う。</p> <p>次代を担う新生児の誕生を地域全体で祝福し感謝の気持ちを表すことが、手厚い子育て支援を掲げる本市において大事なことではないかと考えることから、もう一度、第1子に限らず、子供が生まれたら「お祝い金」や、それに準じる制度を検討する考えはないか伺う。</p>	
		(1) 廃止になったお祝い金について		<p>② これまでの宿泊助成の利用件数は何件あったのか伺う。</p> <p>③ 宿泊助成は、出産からさかのぼって3日前までの分といった制約など、条件面でハードルが高いといった意見を多くいただいているが、その中で、「病院までのタクシー代を全額助成してもらえたら安心だ」という声があった。</p> <p>全国的にも、タクシーが妊婦の窮地を救ったり、出産準備の不安解消につながっている例も数多くあり、子育てタクシーも増えている。妊婦等交通宿泊費助成の中に、陣痛時の病院までのタクシー費用全額助成の追加を考えていただけないか伺う。</p> <p>また、ノウハウのないドライバーでは双方が不安で、それでは普及につながらないことから、妊婦の安心と小さな命を守るためにも、市内のタクシー会社全てにお願いし、提携を結んで子育てタクシーのドライバーを増やすよう働きかけることはできないか、考えを伺う。</p>	
		(2) 妊婦等交通宿泊費助成について		<p>④ 子育て世代を応援する取り組みとして、県の「あきた子育てふれあいカード」があるが、本市での普及状況と、提供されているサービスを含めた、事業の浸透度合いをどのように捉えているか、考えを伺う。</p>	
		(3) 子育て世代を応援するパスポート等の取り組みについて		<p>⑤ 子育て世代を応援する取り組みとして、県の「あきた子育てふれあいカード」があるが、本市での普及状況と、提供されているサービスを含めた、事業の浸透度合いをどのように捉えているか、考えを伺う。</p>	

令和2年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
(4)		子育て支援自動販売機について		<p>② 県の「あきた子育てふれあいカード」のような取り組みを、新たに市独自のものとして作り出すことはできないか。</p> <p>意見によると、子供が小さいうちは、オムツ交換ができるか、座敷か子供用の椅子はあるか、トイレは洋式かなど、家族での外食のハードルが意外と高いという声が多く聞かれた。妊婦や子育て中の方が出かけやすいサービスや設備、情報を提供することが子育てに優しいまちづくりにつながると考える。</p> <p>店舗改修や子供用イス等の備品購入は商店街賑わい共創支援事業に該当し、各店の特典は店側に協力をお願いすれば協力していただけると思う。あとは内容を詰めてカードを作り情報発信をすれば、市独自のパスポートはできると思うが、これに取り組む考えはあるか伺う。</p>	
				<p>① 国土交通省が、サービスエリアや道の駅における子育て応援の今後の取り組み方針として、高速道路会社や地方自治体と連携しながら、子育て応援施設の整備を加速していくとして、24時間利用可能なベビーコーナーの設置、妊婦向け屋根付き優先駐車スペースの確保、おむつのばら売り、施設情報の提供といった機能を整備していくとし普及を図っている。それを受けて、セコム、ダイドー、大王製紙の3社が、子供連れでも気軽に外出しやすい環境づくりとして、ベビー用紙おむつの小パックが購入できる飲料とコラボした自動販売機の設置を開始している。現在、秋田県では3台設置されている。</p> <p>改装したあんたらあには24時間利用可能なベビーコーナーがあり、コモッセには子ども未来センターがあって子連れが多い。ダイドーとは防災協定を結んでいる縁もあるため、子育て支援協定を結んで、市の2つの道の駅、2つのサービスエリア、コモッセ、かづの厚生病院の6カ所に設置すれば、国と自治体との事業連携をいち早く推進し、子育て支援に全面協力するまちとして、本市をさらに強くアピールできると考えるが、検討もしくは導入する考えはあるか伺う。</p>	

令和2年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
2		総合運動公園の整備について		<p>① 遊具を増やす、常時ではなくとも子供が遊べるよう川を整備する、記念樹としての桜を有料で個人や団体、市外の方などから植樹を募集する、子供から親しめるようにローラースキーを貸し出しして遊べるコースを作るなど、いろいろな整備をすれば、市内外から人を集める集客スポットとして、経済効果を上げられると思うが、そういった計画は現段階で考えられているのか。または、これから検討していく考えはあるか伺う。</p>	
3		学校のエアコン設置について		<p>① これまでも毎回のように学校へのエアコン設置についての質問が上がっている。我々も保護者や現場の方々から要望も数多くいただいている。</p> <p>県内でもこの異常な暑さに対して、学校へのエアコン設置を決めた市町村が増えてきている。設置対応のスピーディーさを重視して、家庭用エアコンの導入を決めた市もある。</p> <p>老朽化対策工事、照明設備、トイレ改修と優先順位があることも理解するが、酷暑に加え、未だ出口の見えないコロナ対策でのマスクや高温下での換気など、やはり熱中症対策としてのエアコン設置は急がれる。設置計画はどのようになっているのか伺う。また、エアコン設置を優先的にする方針にできないか伺う。</p>	

令和 2 年第 5 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	成田哲男	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1		新型コロナウイルス感染症について	<p>① 秋田県では、PCR検査体制の拡充を計画していくとされているが、その内容について伺う。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザについて、同時に流行する可能性が懸念されている。冬期間に向けて、どのような対策を検討されているのか伺う。</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症関連で事業停止となった中心市街地のホテルについて、新たな経営の再開に向けた動向などの状況について伺う。</p>		
2		毛馬内市営住宅について	<p>① 現在、4棟16戸の建築が進められているが、完成後の12月中旬から入居の予定と伺っている。入居者の優先順位などについて、どのように検討されているのか、また、課題はあるのか伺う。</p>		
3		移住促進について	<p>① 新型コロナウイルス感染症の影響により、移住フェアなどが中止となっている。その中で、シングルマザーを対象にしたオンライン相談会が開催されているが、参加した13人の方からの反応はどうであったのか伺う。</p> <p>② 相談会への参加者について、本市の子育て支援制度に納得されても、就労等について不安があると思われる。移住者の就労について企業との連携も重要だと考えるが、このことについて伺う。</p>		
4		産業コーディネーターについて	<p>① 地域産業の活性化に向け、今年度新たに東海地区に産業コーディネーターが配置され、3人となったとのことだが、東海地区を含め、鹿角のPRや企業間の連携などの現状について伺う。</p>		
5		リンゴ、桃の販路拡大について	<p>① 秋田県では、リンゴ、桃の販路拡大先として、台湾をターゲットにしようとして事業を進めているようであるが、本市として鹿角ブランドを広げていくために、県の動きをどう捉えているか伺う。</p>		
6		ヘリテージ・ツーリズムについて	<p>① 本市の文化遺産を生かした、着地型旅行商品の企画造成や情報発信などの進捗状況について伺う。</p>		

令和2年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	舘花 一仁	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨		
1	新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた本市の対応について				
	(1) 新型コロナウイルス感染症対応業務継続計画（BCP）の策定について	<p>① 市職員の出勤困難者の発生により、業務の継続が困難となる場合に備えた業務継続計画（BCP）を策定しているか伺う。</p> <p>② 大津市役所では、職員の集団感染により本庁舎が閉鎖となり、支所のみ業務を行っていた事例があるが、本市で発生した場合の対応を伺う。 また、集団感染により、業務の継続が困難となった場合に、一部の業務を中断し、非常時優先業務に職員を重点的に配置して業務継続を図るのが一般的と考えるが市の考えを伺う。</p>			
	(2) 市役所でのテレワーク導入について	<p>① 国では感染リスク軽減のため、企業にテレワークの導入を推進しており、同様に地方自治体にも導入を推進しているが、本市の状況について伺う。 また、導入するとした場合に、市の業務は個人情報取り扱いなど、問題になる点もあると考えるが、市ではどのような点を課題と捉え、どのように課題をクリアできると考えているか伺う。</p>			
	(3) 電子決裁の導入について	<p>① 新しい生活様式に対応した業務改善のひとつとして、電子決裁を取り入れる自治体も増えているとの報道があるが、本市の取り組み状況はどのようなになっているか伺う。</p>			
	(4) オンライン会議の導入について	<p>① 本市（市役所）におけるオンライン会議の活用状況について伺う。また、市内事業者に対して先進的事例の紹介やオンライン会議導入に対する助成などを行うべきと考えるがいかがか。</p>			
	(5) 地元企業への提案について	<p>① 地元企業に対して、産業コーディネーターの知見の活用や、職員自ら企業へ訪問し提案するなど、取り組みの強化が必要と考えるがいかがか。</p>			
	(6) ワークेशनについて	<p>① 市内のホテル・旅館における設備の購入や施設改修に対して助成を行い、市としてワークेशनを積極的に推進すべきと考えるがいかがか。</p>			

令和2年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	舘花 一仁	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨	
		(7) 新型コロナ対策基金の創設について		① 新型コロナウイルス感染症をはじめとする突発的な事象に対する基金を創設し、ふるさと納税制度を活用して市内外から寄附を募る考えはないか伺う。	
		(8) 芸術振興への支援について		① 弘前文化会館では、感染拡大防止のため、座席数の3割までとする入場の制限をしているが、使用料については7割減免を実施している。コモッセにおいても同様の支援を実施できないか伺う。	
2		電力自給率のPRについて		① かづのパワーが4月に電力の供給を始めて約6カ月となるが、この半年の状況について伺う。 ② 他市の事例として、地域で産出された電気をふるさと納税の返礼品としている事例があるが、本市でも同様の取り組みを行うことで電力自給率が全国トップクラスであることをPRできると考えるが、これについて伺う。	
3		成人式について		① 成人式の中止は県内で本市のみであったが、中止という結論に至った経緯について伺う。 ② 新成人自らが実行委員会を設置し、成人式を実施しているが、市としては将来的に廃止することを視野に入れているのか伺う。	
4		大雨災害への対応について		① 大雨災害時の避難所が変更となっているが、避難所変更の周知方法に問題はなかったか伺う。 ② これまで市ではコモッセや八幡平市民センターを避難所とすることに問題はないとしていたが、数年で指定を変更することになったことについて、市長の考えを伺う。 ③ 市民を大雨災害時に救出するために、浸水想定区域内の住民に対してライフジャケットを配布すべきと考えるがいかがか。	

令和2年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	30分	
質問事項				質問要旨		
1		コロナ禍に対応した新しい生活様式に向けた対応について		<p>① 教育分野におけるGIGAスクール構想に向けた関連事業等との連携、さらに、児童生徒・学生や教員が学校・自宅で使うICT環境の整備について伺う。</p> <p>② 文化芸術、図書館、公共施設など、人が集まる空間での「密」を可視化するためのオンライン情報や、アプリを活用した予約システムの確立とともに、文化芸術、スポーツの活動継続に向けた支援について伺う。</p> <p>③ これまで地域のコミュニティーを中心に、高齢者・子育て家庭などの見守りや支え合いの社会を築いてきたが、「新しい生活様式」に対応するため、オンラインツールの活用も重要と考える。特に介護や福祉分野では、ロボット技術やICT等の導入を用いたケアモデルの支援、個人健康データの利活用の推進などを図り、健康寿命の延伸につなげるべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>④ 「新たな日常」の構築に向け、生活上のリスクを下げるため取り組みを推進すべきと考えるが、どのように取り組んでいくのか伺う。</p>		
2		DX（デジタルトランスフォーメーション）の対応について		<p>① 自治体DXについて、他都市事例を含めた調査や変革の責任者である「CDO」の設置のための研究を始めるべきと考えるがどのように対応するのか伺う。</p> <p>② ITの浸透が市民の生活のあらゆる面でより良い方向へ変化させるDXによって、地域の価値を高めていくことにより、移住や企業誘致の促進が図られると考える。そこで、医療や住まい、交通などがアクセスしやすいサービスを地域限定で整えたり、空き家を利用する仕組みづくりを推進し、誰もが住み続けられるまちづくりを実現すべきと考えるがいかがか。</p> <p>③ DXの推進によって、ビックデータやAIの活用により、さらに精度の高い政策立案ができると考えるがいかがか。</p>		

令和2年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	4	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
3		<p>コロナ禍における避難所運営の在り方について</p> <p>(1) 大規模自然災害時に開設する避難所の運営における、新型コロナウイルス感染症対策について</p>		<p>④ さらに国では、デジタルガバメントに欠かせないマイナンバーカードの抜本的改革の方針も示しているが、市として対応する考えはあるのか伺う。</p> <p>① 可能な限り多くの避難所を開設すべきと考えるが、現状、ホテルや旅館等の活用はどのようになっているのか。また、ホテルや旅館等へはどのような避難者を受け入れるのか。さらには、高齢者や基礎疾患のある方などを初め、優先的に避難される方を事前に検討し決めておく必要があると思うが、見解を伺う。</p> <p>② 「分散避難」の定着について、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考えても、「安全な場所に逃げること」を改めて周知する必要がある。また、災害時に避難生活が必要な方に対しては、避難所が過密状態になることを防ぐため、親戚や知人宅等への避難も検討するよう周知すべきであるが、分散避難によって災害物資の届け先が増えるため、どのように対応するのか検討が必要だが、見解を伺う。</p> <p>③ 避難所の感染症対策や運営について、避難所における基本的な感染対策を徹底するとともに備蓄物資の充実が必要である。避難所内の十分な換気やスペースの確保、避難所全体のレイアウト・動線等、感染症対策に配慮した避難所運営のあり方についても検討しておく必要があると考えるが、見解を伺う。</p> <p>④ 災害の状況によって、発熱、咳等の症状が出た避難者の病院移送が困難な場合に備えた対応について、避難所における良好な生活環境を維持するためには、感染症を発症した可能性のある避難者と一般避難者とのゾーン、動線を分け、個室などの専用スペースの確保、専用トイレの設置などが必要だが、こうした課題にどのように取り組むのか伺う。</p>	

令和2年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	田中 孝一	質問所要時間	30分
質問事項				質問要旨	
1	<p>新型コロナウイルス感染症対策の取り組みについて</p> <p>① 本市としても感染予防対策として、「3密の回避」、「マスクの着用」、「手洗い、咳エチケット」など注意喚起を進めながら、観光宿泊業の誘客促進や市内の消費喚起にプレミアム付き商品券や飲食券を発行して経済的支援対策を実施しているが、現在の取り組みの状況と実績はどのようなものか伺う。 また、今後感染症の発生が長期化すればさらに社会、経済、働き方が変化して生活様式に影響が出てくることが予想されることから、本市の状況を踏まえた中で今後、社会、経済の変化にどのような取り組みを考えていくのか伺う。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症の発生により、社会情勢が変化して新たな生活様式が生まれて、国内では都市部から地方へ移住する若者が増えている傾向にあるという情報を聞くが、本市の恵まれている生活自然環境の利点を発信した、都市部からの移住、定住の拡大に向けた取り組みを考えてはと思うが、市の考えを伺う。</p>				
2	<p>農業振興対策について</p> <p>① 全国的にも主食米の作付けが増加している傾向にあり、主食米価格の低下が心配され、本市としても主食米偏重からの脱却を図り、複合経営の拡大をさらに推進し、農業所得の向上を図るとしているが、本市の農業形態である複合経営の拡大も、担い手不足と高齢化によって難しい状況にある。本市の基幹産業である農業としては重要なことから、取り組もうとする振興策をどのように推進していくのか市の考えを伺う。</p> <p>② 水稲作物コスト削減による稲作経営の安定を図るため、直播及び密苗栽培に取り組む農業者の支援と普及拡大を図るとしているが、本市における直播、密苗栽培の状況について伺う。また、普及拡大を進める推進策をどのように考えているのか伺う。</p> <p>③ 農業所得の増大にはコスト削減が不可欠であるが、農業における担い手不足が深刻な状況にある中で、近年AI技術を活用したスマート農業やドローンによる管理システム、病害虫防除等が発達しており、基幹産業とする本市の農業振興は、こうした状況を踏まえた先進的な農業組織、農業経営者を育成する必要があると思うが市の考えを伺う。</p>				

令和2年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	田中 孝一	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
3	林業の振興対策について		<p>④ 冬季農業の確立に向けた推進策として、啓翁桜の作付けを推進しているが、現在の状況について伺う。また、今後の作付拡大をどのような取り組みで考えているのか伺う。</p> <p>① 森林整備計画に基づいた事業実施を推進する中で、林業専用道の整備、開設、人工林について所有者の意向確認のための調査、林政アドバイザーの配置などの事業が実施されており、森林環境譲与税により、林業関係者の所得向上のための林業経営が図られるものと思われるが、現在の取り組み状況について伺う。また、担い手の確保をどのように考えているのか伺う。</p>		
4	商店街の活性化について		<p>① 中心市街地における、唯一の大型ホテルとして本市の観光事業に大きく貢献してきたホテルが廃業している状況にあるが、市街地の活性化に与える影響は非常に大きい。営業再開に向けた取り組みを検討していると思うが、どのような状況にあるのか伺う。</p>		